



なしの木

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる 長幡小学校

令和6年 11月20日

第 18 号

上里の子供たちを育てる合言葉：あいさつ、返事、靴そろえ、集中した清掃（膝つき清掃）

【校長賞】提出された冊数：97冊 1冊以上提出した児童数：45名 11月19日現在

大舞台を経験して

11月7日（木）、北部西地区音楽会が本庄市民文化会館を会場に開催されました。本校からは、3年1組が出場し、練習の成果を存分に発揮してくれました。

本校の出番は、午後の部の一番目。大

きな会場、そして、たくさんの他校の児童生徒、保護者等がいる中で、より緊張したことと思います。そのような状況の中で、自分の力を出し切る難しさや見てもらえる（聴いてもらえる）喜び等様々なことを学ぶことができたのではないのでしょうか。



全校朝会で全校児童へお披露目 11月5日

11月14日は埼玉県民の日

過ぎてしまいましたが・・・

1871（明治4）年、廃藩置県が行われました。「県」の統廃合により、旧暦の11月14日に「埼玉県」が誕生しました。

当時の埼玉県は荒川より東の地域で、西側にあった入間県が1873（明治6）年に群馬県と合併して熊谷県になりました。その後、1876（明治9）年に埼玉県と旧入間県が合併し、今の埼玉県とほぼ同じ形になりました。当時の人口は、約90万人でした。

100年目に当たる1971（昭和46）年、100周年を記念して11月14日が「県民の日」とされました。



学力向上を目指して

11月6日、上里町学力向上授業研究会が、七本木小学校と上里北中学校を会場に開催されました。町内小・中学校の教職員が授業を参観し、研究協議や指導者からの講評から学力向上への学びを深めることができました。来年度は、本校を会場に授業研究会を開催する予定となっています。



七本木小体育館での分科会・全体会

職場体験

本校は、上里中学校の職場体験学習の一環として生徒の受け入れを行っています。今年度は、6名の生徒が11月18日～20日の3日間、本校での職場体験学習に取り組みました。(右の写真) 6名とも昨年度まで本校に在籍していた生徒です。本校を卒業してからまだ半年余りですが、心身ともに大きく、たくましく成長した姿に驚きとうれしさを感じました。



<職場体験学習の目的>

- 勤労生産体験、奉仕的学習体験をすることにより、勤労の尊さや意義を学ぶ。
- 実際の職場で、実労働体験をすることにより、将来の職業選択の参考とする。
- 職業を誇りと責任を持って働く人々に、直にふれることにより職業や進路に関わる啓発的体験を得る。



子供への多様な支援

巡回相談

課題の見られる児童に対し、その一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援について、専門的な立場から指導・助言を受けることを目的に、巡回相談を年2回実施しています。

埼玉県立本庄特別支援学校の特別支援教育コーディネーター(藤井先生 上の写真)に來校していただき、授業を参観後に学級担任に指導・助言をいただいています。子供たちに、どのように関わっていくのがよいのか、試行錯誤を繰り返しながらより適切な指導・支援につなげていきます。

通級指導教室

地域の小学校に通いながら通級できる教室で、現在、神保原小学校と本庄南中学校に開設されています。次のようなお子さんがおりましたら、利用を検討してみるのもよいかと思えます。

- 集団行動が苦手。(感情の起伏が大きい、不安感が強い、気持ちの切り替えが難しい等)
- 活動にこだわりがあって、コミュニケーションがうまくとれず、友達と関わるのが苦手。
- 物事に落ち着いて取り組むことが苦手。
- 不器用であったり、整理整頓が苦手。
- 読む・書く・計算する等、特定の教科や学習内容を理解するのに時間がかかる。

詳しくは、学級担任または本校特別支援教育コーディネーター(飯塚)まで、お気軽にお問い合わせください。

SC・SSW

学校には、教諭はもとより、養護教諭や特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)など、専門性を有する職員がおります。(非常勤の職員もおります)

お子さんのことで心配なことや悩み等がありましたら、お気軽に御相談ください。お子さんを多面的に理解していくためにも、多方面からの支援をいただくことも大切なことかと思えます。

